

訪問ガイド **2026**

レナソフィア美術館

マドリード · から 12€

https://museoreinasofia.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

王立病院から芸術の神殿へ

GOOGLE 4.5 ★★★★☆ 72 524 レビュー

TIQETS 4.6 ★★★★★ 3 544 レビュー

レナソフィア美術館は、18世紀末にカルロス3世の治世に建設された旧サン・カルロス病院の敷地に建てられています。 フランチェスコ・サバティーニによって設計されたこの壮大な建物は、数十年にわたる改修工事を経て現代芸術の殿堂へと生まれ変わり、ケアと文化との象徴的な移行を象徴している。 この機関は、スペイン国家の分散したコレクションを統合する意志から生まれ、1900年以降、芸術表現に特化した空間を創り上げてきました。 1980年代には、博物館が1986年から臨時展示を開始したことで、制度的な発展が加速しました。 国立美術館としての公式な指定は1988年5月に、初代館長トマス・ロレンスの主導のもとに行われた。彼は、それまで過小評価されていた20世紀スペインの芸術家たちの地位を回復させることに尽力した。 この時期は、野心的かつ体系的な国立コレクションの基盤を築いた。 1992年9月10日の常設コレクションの公開は、現代芸術における世界的な基準としてのセンターの使命を確立する重要な節目となった。 「レインア・ソフィア」という名前は、スペイン国王フアン・カルロス1世の妃であるギリシャのソフィア王妃に敬意を表するものであり、この施設をスペイン王政に根ざさせると同時に、世界中の人々にその扉を開いています。 この日付は、民主主義スペインが国際舞台において文化的な主張を確立したことを示している。 建築的進化は、2005年に開館したジャン・ヌーベルが設計した拡張部分で頂点に達する。 この大胆なプロジェクトにより、博物館の面積が60%拡大し、最新のオーディトリアムと柔軟な展示スペースが統合されています。 今日、年間160万人以上の来場者を誇るレナ・ソフィア美術館はもはや単なる作品の保管場所ではなく、現代社会と対話する生きた神経中枢のような中心地となっています。

体験

サバティーニ建物の歴史的な建築様式と、ヌヴェル増築部の洗練されたモダンさの間に漂う緊張感が、敷地を跨ぐ瞬間から訪れる者を強く引きつける。 自然光が大きなガラス屋根を透過し、絵画を照らしながら、没入に適した瞑想的な雰囲気を醸し出している。 スペインの歴史の重みは、直ちに感じ取れる。それは、20世紀における政治的・社会的な激変を証言する作品たちによって支えられている。 散歩は激しい感情的な旅へと変わり、各展示室がスペイン人の魂の一面を語っている。 急進的な前衛芸術から現代のインスタレーションまで、この空間は絶えず創造的なエネルギーに満ちている。 これは完全な感覚体験であり、視覚は絵画的な細部に没入することで、取り上げられた主題の劇的な重みをより深く捉え、知的かつ美的な独自の休息の瞬間を提供する。



訪問の準備

実用的な情報

住所
アトチャ地区・地下鉄: Estación del Arte (L1, L10) または Atocha (L1, L10, 直接出口)。

開館時間
火曜休館。月曜から日曜まで10時から21時まで開館、最終入場は20時30分。

料金
大人料金: 12 €。18歳未満は無料。{promo}。

見学所要時間
常設展と特別展を慌ただしく移動せずに落ち着いて鑑賞するには、2〜3時間を見込んでください。コレクションには20000 点以上の作品が含まれています。

写真撮影
ゲルニカ専用展示室での写真撮影は厳禁です。その他の場所ではフラッシュや三脚なしで撮影可能です。このルールを守り、作品を保護してください。

対象者
現代アートに情熱を持つ大人に最適です。ティーンエイジャーはスペイン内戦の歴史的な文脈を楽しむでしょう。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

地下鉄
: カルロス5世広場 — 3 min à pied
マドリード・アトチャ駅 (7 min)・エンバッヤドレス (8 min)

バス
: デサンパラドス — 5 min à pied
マドリード・アトーチャ駅 (9 min)・エンバハドレス (11 min)

車
マドリード・アトーチャ駅 (4 min)・エンバハドレス (6 min)

BiciMAD / 自転車
マドリード・アトーチャ駅 (4 min)・エンバハドレス (6 min)

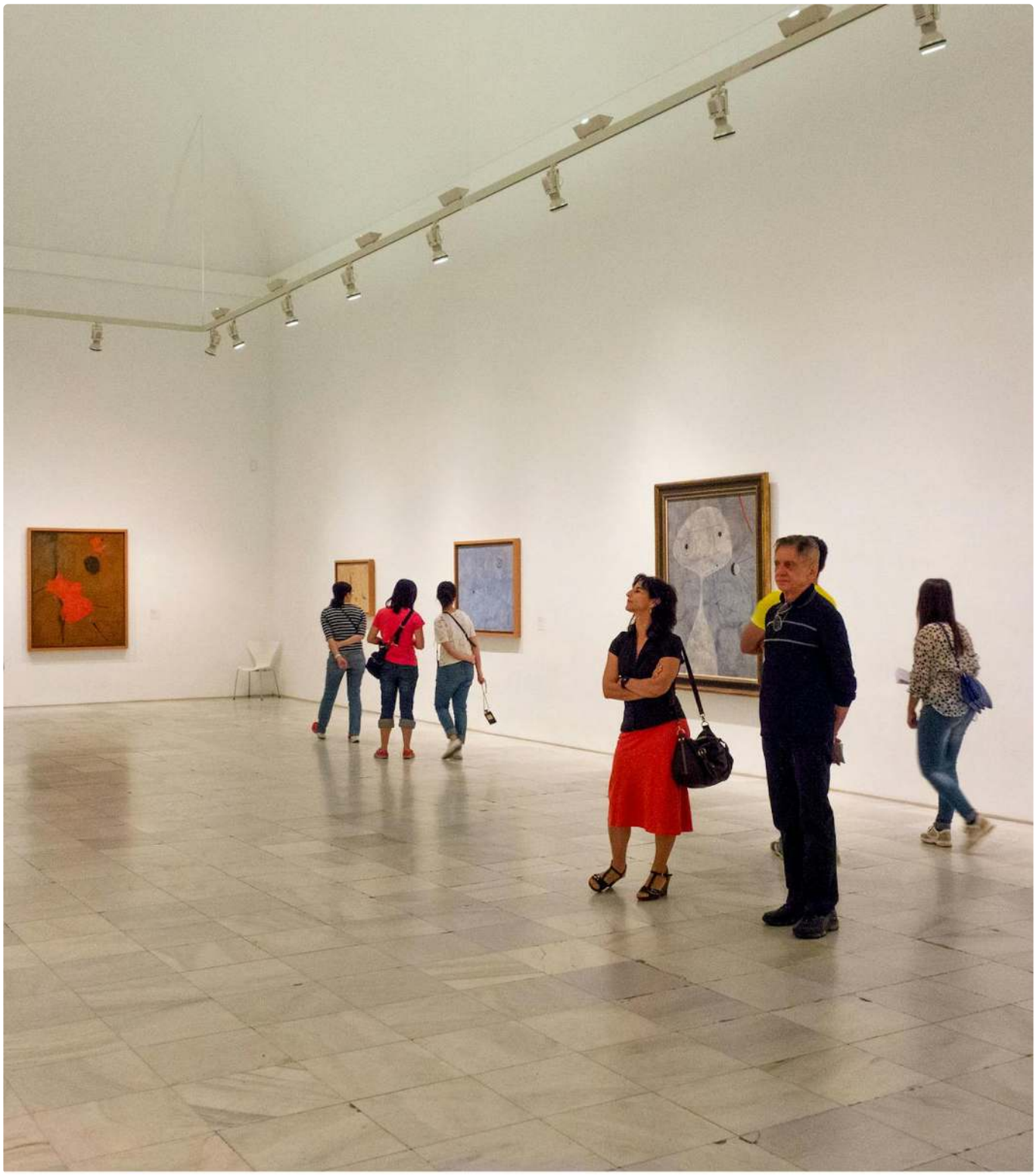
LOCALISATION

Où se trouve レナソフィア美術館 ?



📍 Museo Reina Sofía: 2, Ronda de Atocha, 28012, Madrid — 28012 マドリード

🌐 40°24.475′ N, 3°41.673′ O



組織

年代順および建築的な巡り

1階（新館）

このフロアには主に大規模な特別展とモダンな受付スペースが設けられています。ジャン・ヌーベルの建築が支配的で、洗練されたラインと自然光が特徴です。また、書店、ショップ、そして博物館に統合されたレストランスペースもここにあります。インタラクティブなマップを確認し、訪問ルートを用意するための理想的な出発点です。

中層階（サバティーニ棟）

これらの階には、年代順に整理された20世紀スペイン美術の常設コレクションが展示されています。歴史的アヴァンギャルド、シュルレアリスム、幾何学的抽象主義を発見できます。広々とした展示室は、国内アーティストたちの様式変遷を滑らかに読み解くことを可能にしています。ピカソやダリの主要作品を含むコレクションの歴史的な中心部がここにあります。

上層階とオーディトリアム

最上層のフロアは、国際コレクションや現代アートインスタレーションに対する異なる視点を提供します。時には歴史的な中庭への眺望も楽しめます。これらのスペースには、講演会やパフォーマンスに使用される最新のオーディトリアムも設けられており、博物館が議論と芸術的イノベーションの場としての役割を強化しています。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

全館にエレベーターとスロープを備えた完全なバリアフリー対応。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

家族連れにも適していますが、芸術の内容にはある程度の理解力が必要です。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

ゴールデン・トライアングルの必見スポット

01 **PABLO PICASSO** 1階の専用展示室

ゲルニカ

この1937年の巨大なフレスコ画は、おそらくこの美術館で最も有名な作品です。スペイン内戦中にバスク地方の町が爆撃された際の惨状を描いています。断片的なキュビズムのスタイルとモノクロームのパレットは、普遍的な苦痛を伝えています。反戦メッセージの深みを理解するためには、動物や人間の姿に目を留める時間を取る必要があります。

> 💡 ピカソはこの作品を2ヶ月未満で描き上げ、昼夜を問わず制作に没頭しました。そのため、一部の線に見られるような生々しい強度と制作の速さが表れています。

02 **SALVADOR DALÍ** 常設コレクション

大自慰者

スペインのシュルレアリスムを象徴する作品で、1929年の制作です。このブロンズ彫刻は、夢現的で不気味なアンドロジヌスな形態を持つ人物像を表現しています。ダリの精神分析学的探求を完璧に体現し、性、神話、そして夢を融合させています。この作品は、来場者にしばしば魅惑と違和感の混在した感情を引き起こします。

> 💡 ダリはこの彫刻を、当時の道徳的規範に挑戦するために構想しました。解剖学的な二重の意味を巧みに利用して、鑑賞者を困惑させようとしたのです。

03 **PABLO PICASSO** 常設コレクション

青い服の女性

1924年に制作されたこの作品は、ピカソのミューズであり恋人でもあったドーラ・マールを描いています。一見シンプルに見えますが、驚くべき表現力を持つ肖像画です。鮮やかな色彩とモデルの内省的な表情が対比しています。これは画家の晩期キュビズムの成熟を完璧に示す一例です。

> 💡 写真家出身のドーラ・マールは、ピカソの女性像の描き方に影響を与え、その絵画に写真の現代的なタッチをもたらしました。

04 **JOAN MIRÓ** 常設コレクション

パームツリーの家

この明るくカラフルな絵は、ミロの詩的なアプローチを体現しています。有機的な形と原色は、子供らしく自由な世界を想起させます。この作品は、美術館内の他の一部の作品の重厚感とは強い対比をなし、現代芸術の多様性を思い出させてくれます。軽やかさと想像力への招待です。

> 💡 ミロはカタルーニャでの幼少期にインスピレーションを得たモチーフを頻繁に使用し、グラフィック的簡素さに基づく普遍的な視覚言語を創り出しました。

05 **JUAN GRIS** 常設コレクション

音楽家のテーブル

シンセティック・キュビズムの傑作であるこの1912年の静物画は、日常の物を精密な幾何学に分解している。ピカソの盟友であったグリスは、数学的な厳密さで色彩の均衡を掌握していた。この作品は、芸術が現実を破壊することなく分析できることを示している。キュビズム運動の形式的な進化を理解するために不可欠な作品である。

> 💡 フアン・グリスは偉大なキュビストたちの中で唯一のキューバ人であり、彼のより知的化された形態へのアプローチは、ヨーロッパのアーティストの一世代に影響を与えた。

06 **VASSILY KANDINSKY** 国際コレクション

微妙な緊張感

この1923年の水彩画は、カンディンスキーの純粋抽象期の作品である。動的な線と鮮やかな色彩は、音楽的・精神的な感覚を表現している。この作品は、観客に芸術を模倣ではなく、見えないものの表現として捉えるよう促す。それは、本館にある国際的な抽象芸術への橋渡しとなるものである。

> 💡 カンディンスキーは、各色彩が音響的等価物を持つと強く信じており、絵画の構成を交響曲の創作に比喩していた。

07 **ROBERT DELAUNAY** 国際コレクション

トリスタン・ツァラの肖像

1923年に制作されたこの肖像画は、装飾的でリズム感のある表現を通じてダダイズムの精神を捉えています。ドゥラン＝ルュエは幾何学的な形態を用いて、被写体の活発な個性を示唆しています。本作は戦間期の知的な沸き立ちを反映しており、フランスの前衛芸術がヨーロッパ美術に与える影響の増大を示しています。

> 💡 ダダの創設者であるトリスタン・ツァラは、ブラックユーモアや挑発的な行動で知られており、それはドゥラン＝ルュエの肖像画における不安定なエネルギーに反映されています。

08 **GUILLERMO PÉREZ VILLALTA** 現代コレクション

場面。ロックコンサートの終了後に外に出る登場人物たち

この1979年の作品は、フランコ死後のスペインのカウンターカルチャーの本質を捉えています。ロックコンサートから出てくる登場人物たちは、当時の社会的・芸術的解放を体現しています。現実的でありながら感情に満ちたスタイルは、暗い時代から新たな自由への移行を表しています。これは1970年代のスペインの若者に関する貴重な証言です。

> 💡 ペレス・ビヤルタは、フランコの死直後にこの場面を捉えました。当時、ロック音楽はスペインにおいて政治的熟考の象徴になりつつありました。

アドバイス

レイナ・ソフィア美術館での訪問を最適化する

タイミング

平日の午前、理想적으로는10時30分前に訪問し、混雑を避けましょう。無料の夜間イベントは多くの来場者を呼び込み、1時間を超える行列が発生します。

チケット

必ずオンラインでファストパスチケットを予約してください。入場料は12ユーロですが、これにより正確な入場時間を確保でき、窓口での長い待ち時間を避けることができます。

鑑賞ルート

20世紀のスペインコレクションから始まり、その後国際的な作品へと進んでください。この年代順のアプローチは、ヨーロッパにおける現代芸術の発展を文脈化するのに役立ちます。

写真

フラッシュなしの写真撮影はほとんどの展示室で許可されていますが、ゲルニカ室では厳禁です。この作品を写真の構図を探そうとするよりも、記憶に刻み込んでください。

休憩

ミュージアム内にある飲食施設を活用して、素早く休憩を取ることができます。そうでなければ、アトチャ地区には多くのレストランが近くにありますので、より充実した昼食を楽しむことができます。

子ども

家族向けに設計されていますが、内容にはある程度の成熟度が求められます。内戦の歴史的な背景を思春期の子どもたちに説明するには、ファミリー向けのガイド付きツアーをご利用ください。

オーディオガイド

多言語対応（フランス語、英語、スペイン語）のオーディオガイドは、作品の文脈を理解するために非常に推奨されています。人間のガイドなしで、複雑な歴史的・芸術的参照事項を把握できます。

快適さ

2〜3時間の歩行を予定してください。博物館は広大で、各フロアは階段またはエレベーターでつながっているため、履きやすい靴をおすすめします。必要に応じてクロークをご利用いただけます。



よくある質問

よくある質問

レオナルド・ダ・ヴィンチの『モナ・リザ』を見るには、ソフィア王后美術館の優先入場券を予約すべきですか？

はい、強く推奨されます。夜間に無料枠が存在しますが、非常に長い行列が発生します。有料チケットは確実な時間帯を保証し、スムーズな訪問を実現します。これにより最大限の混雑を回避できます。

無料で博物館に入れますか？

特定の夜に無料入場が提供されますが、混雑度は非常に高いです。ストレスなくアクセスを保証するため、標準チケットの事前予約をお勧めします。これが行列を避ける最善の方法です。

割引料金がありますか？

18歳未満は無料で入場可能です。学生やシニア向けに条件付きで割引があります。オンライン購入時に正確な基準を確認してください。料金はプロファイルによって異なります。

ファストトラックチケットはどう機能しますか？

窓口のメイン行列をスキップできます。選択したプランの種類に応じて、チケット売り場または入口に直接アクセスでき、訪問時間を最適化します。貴重な時間を節約しましょう。

博物館の見学にはどのくらいの時間がかかりますか？

最低でも2〜3時間を見込んでください。コレクションには20000 点以上の作品がありますが、ピカソやダリなどの巨匠に焦点を当てたルートなら2時間で実現可能です。主要な作品に集中してください。特別展も一見の価値があります。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

隠された病院の遺産

主棟には、もともとの病院としての機能の名残が今なお残っています。チャールズ3世の治世に建設され、王立軍の治療に使われていました。この病院建築は、広い廊下や天井の高さを特徴とし、一般客の受け入れに合わせて巧みに改修されており、独自の空間的連続性を生み出しています。

新拡張のインパクト

2005年の拡張は、美術館を単に拡大しただけでなく、その認識を変えました。60%の面積を追加することで、ジャン・ヌーベルは500席の講堂や柔軟な空間の統合を可能にし、レナソフィア美術館を静的な展示を超えた活発な文化拠点へと変貌させました。

戦略的な黄金の三角

プラド美術館とティッセン＝ボルネミッサ美術館とともに、レナソフィア美術館は「黄金の三角」を形成しています。この3つの美術館はパセオ・デル・プラド沿いに位置しており、スペイン美術に完全に浸ることを可能にしています。1日で3つすべてを訪れることは可能ですが、行程を急がないよう適切な計画が必要です。

生きた、成長し続けるコレクション

この美術館は保存だけに留まらず、積極的に収集活動を行っています。約25,000点に及ぶコレクションは、特に寄贈や目的ある購入を通じて引き続き充実しており、ラテンアメリカ美術に焦点を当てることで、スペインとその旧植民地との文化的な絆を強化しています。

博物館周辺

アトチャ地区の中心部に位置するこの博物館は、豊かでアクセスしやすい都市環境に恵まれています。 数歩先には、プラド通りが広がり、木々に囲まれた心地よい散策路として、芸術的な感動を消化するのに最適な場所となっています。 自然愛好者は、歴史的な静寂のオアシスとして知られるレティロ公園を訪れ、ひとときの休息を楽しむことができます。 美食愛好者のために、周辺には多くの高品質なレストランがあり、マドリードの芸術とガストロノミーを組み合わせることができます。 最後に、アトチャ駅は博物館に直結しており、スペイン全土からのアクセスを容易にし、一方、ボヘミアンな街並みで知られるマラサニャ地区では、夜更けまで楽しめるオルタナティブな雰囲気が広がっています。



レナ・ソフィア美術館を去るとき、スペインの芸術が刻んだ消えぬ痕跡を胸に抱いて旅立つことになる。 作品の強度、とりわけ『ゲルニカ』のような傑作に対するものは、退場後も長く響き続ける持続的な感情的な衝撃を残す。 この訪問は単なる視覚的な発見にとどまらず、ヨーロッパの最近の歴史に深く浸る体験であり、芸術愛好家やマドリードの魂に興味を持つ人々にとって、この文化的な出会いが不可欠なものとなっています。